

うちこ福祉館だより



令和元年
9月発行
電話・FAX
44-3410

愛媛県隣保館連絡協議会 先進地視察研修会

七月十日(水)～十二日(金)の三日間、隣保館運営に関する先進的な隣保館や人権・同和問題の解決に関する施設等を訪問し、同事項の調査・研究、課題解決への展望に資すること目的とした先進地視察研修に、うちこ福祉館からは仲間館長が参加しました。

岡山市人権啓発センターでは、洗染一揆について説明を受けた後、同資料館を見学しました。福祉交流プラザさいでんでは、同和地区という概念が無くなってきており混住地区になっていくこと、地区・地区外を問わず近隣住民の交流が盛んであること、中国帰国者が多く日本語教室の開催など、地域の現状を把握したうえで独自の事業を行っている

等の説明を受けました。

三日目に研修を行った宝塚市立くらんど人権文化センターでは、市の学校教育課職員が常駐、人権教育文化事業として人権講座、幼児教育や子育て学習、識字教室など全ての年代向けの事業を実施している等の説明がありました。

研修を通して、同和問題をはじめ多くの人権課題の解決を図るために行う事業が、一方通行ではなく、地域の皆さんと共に学び考えることの重要性を改めて強く認識しました。



フィールドワーク

内子町人権・同和教育夏季研修会 (兼・部落差別解消推進リーダー研修会)

七月三十一日(水)、五十崎自治センター共生館において内子町人権・同和教育夏季研修会が開催され、徳島県徳島市万福寺 住職 福島誠浄(ふくしませいじょう)先生による、「なんでも相談寺から」部落差別の現実に学ぶ」と題した講演がありました。

講演のなかに、「偏見は悪口から始まる」という言葉がありました。少し考えを広げてみると『悪口は偏見を生み、偏見は自分の心に差別意識を生む』と

今年も、緑のカーテンが完成しました。日陰を作り、猛暑の日差しを和らげています。

内子町が推進する環境政策の一環ですが、緑のカーテンは来館者や地域の皆さんとの会話のきっかけになることも多く、福祉館にとっては、何よりのやりがいとなっています。

も考えられるのではないのでしょうか。

私たちは、故意ではなくとも何気ない言動が相手を傷つけてしまう可能性があります。態度や言葉に出す前に、「誰かの悪口を言っていないだろうか」「偏見を持っていることはないだろうか」と、心に問いかけ、自分の思いや考えと向き合ってみませんか。

緑のカーテン完成!



今年の緑のカーテンも上出来です

**デイサービス事業など
有効利用します**

お待たせしました。
故障が多くご不便をお掛けしていた機能回復訓練室の備品のうち、「ベッド型マッサージ器」と「マッサージチェア」を新調しました。

内子町内の方ならごなだでもお使いになれますが、いくつか決まり事を設けております。初めてご利用になる場合などは、必ず職員にお声かけください。



上：ベッド型マッサージ器
下：マッサージチェア



館外活動のお知らせ

今年、愛媛県立内子高等学校文化祭へ出展参加することとなりました。うちこ福祉館では初めての試みです。普段、来館される機会の少ない高校生や保護者の方々へ、福祉館や館の活動について少しでも知っていただく良い機会と捉えて準備を進めています。

熱中症に警戒継続を！

九月に入りましたが、熱中症にはもうしばらく警戒してください。水分と塩分の補給を意識的に行いながら、元気で毎日を過ごしましょう。



**やさしい手話教室が始まります
くんとつながり、広げませんか**

ともに、手話を学びませんか。

- 開催期間 九月末～十二月中
- 講師 手話サークル内の子
- 受講料 無料

(月曜の部は資料代千円が必要)

月曜日

時間 午前十時～十二時

定員 八名

日程 初回…九月三十日 全十回

金曜日

時間 午後七時三十分～九時

定員 二十名

日程 初回…九月二十七日 全十二回

○申し込み方法

うちこ福祉館に設置してある申込用紙に必要事項を記入して申し込んでください。

